



趣味も遊びも、  
面白いと始めたことは、  
すべて仕事につながっている。

「お土産の少ない室戸に名物を!!」と作ったのが、「夫婦どら」。

第25番札所・津照寺山道前「夫婦善哉」の看板商品だ。

2年前に東京からUターンした谷口洋介は、元銀行マン。高校・大学時代に体育会系野球部で磨いたパワーと集中力で、実家の経営を立て直すために猛勉強。着実に成果を上げている。

「野球も経営も、合理的な動きをすればパフォーマンスがよくなる」が信条。「自滅しないため」のアイデアを、あれこれ考え出すのが楽しい。

食堂としてお遍路さんに美味しいものを提供することに加え、新たに、地元のファンを増やす計画を進めている。たとえば、お年寄りが不便だ・必要だと思うところにソリューションの種があると睨んだ。

「すっかり頼ってます」と微笑む母に、「みんなが美味しいものを作ってくれるからできる」と答える息子。ふたりを中心に、姉たちも加わって、「家族善哉」な店である。

多趣味な息子の落語の高座名がまた洒落ているので、ぜひ、ご来店時にお尋ねください。

遍路の駅 夫婦善哉  
谷口直子・洋介

室戸じと、  
進む。